Mt.Fuji Art Festival 2026 Artist introduction | 作家紹介

浅川 洋 ASAKAWA Yoh
山梨県生まれ。1981年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。消滅と再生をくり返すままざまな現象。その記憶をたどりさせ、整ざること、それが作品となることを願っています。
展示会場 4

あさのゆき ASANO Yuki
1971年静岡県生まれ。
1992年LOVE COLLECTION GALLERY(名古屋)個展。
1993年&2022年富士山芸術祭プロジェクト。
以降、個展 / グループ展など。
展示会場 15

雨宮弥太郎 AMEMIYA Yataro
東京藝術大学で彫刻を学ぶ。
元様年間より絵と現制作の伝統を重んじながらも、現に向かう事は現の石に対面する事に同義とこころ、自分の内面と向き合う"精神の器"、として、現代形却としての可能性を追求しています。さらに、現の在り方を拡大しインスタレーションとしての表現に挑戦しています。
展示会場 4 17

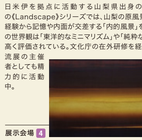
かねおやあつし KANEOYA Atsushi
かざ針編みで作品制作しています。アニミズムの思想を参考にしており、目に見えない存在やエネルギーとしての恵、恵くるみを作る感覚で制作しています。
展示会場 4

加山絵子 KAYAMA Minako
女子美術大学芸術学部卒業。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。土を素材とした陶作品を中心に、人物像を通じて人の存在や記憶、人とと自然とのつながりを探求している。現在、日展会友、日本彫刻会会員、山梨学院短期大学専任講師として、美術教育の研究・実践にも携わる。
展示会場 4

棚町宜弘 TANAMACHI Yoshihiro
日展准会員(2014, 2021特選授賞)、日春会会員。
栃木県立美術館、佐野市立吉澤記念美術館、南町即立美術館常公共施設で立面展多数。栃木県立美術館、南部町、早川町等にパブリックコレクション多数。
展示会場 6

中込 齢 NAKAGOMI Kazu
1953年山梨県八代町生まれ。
本名一和恵 字一子種 雅號一和風・春蘭 廃號一李暢龍・北門鬼 號號 宮城県出印 宮城県出印 宮城県出印
師承 (書)明石春湖・中込樂伸 (篆刻)鄧正人・笠井燕愛(漢詩)中込愛山
所属 毎日書道展会員・対山山会会員・山梨県刻協会副理事長・蒲墨書道会代表(主宰)
展示会場 13

中込靖成 NAKAGOMI Yasunari
日米伊を拠点に活動する山梨出身の画家。代表作の《Landscape》シリーズでは、山梨の原風景や海外滞在の経験から記憶や内面の交差する「内的の自然」を描いている。その世界観は「東洋的なミニマリズム」や「純粋な詩」と国内外で高く評価されている。文化庁の在外研修を経て、国際作家交流展の主催者として精力的に活動中。
展示会場 4



石田泰道 ISHIDA Taido
1968年山梨県生まれ。2009年に108体の「義玉」オブジェとともにフェッサマグナ往復1000km の旅に出る(大地の芸術祭・越後妻有 アートトリエンナーレ)この頃より自身が結晶形オブジェに乗りふみ川を漂流するなど、表現が多様に展開。2016年より「花」をテーマにした作品を手掛けるようになり現在に至る。個展・プロジェクト50回以上、国内および中国においてグループ展等多数開催。
展示会場 5 11 13 14 17

伊東正次 ITO Masatsugu
日本画家・日展会員 一般社団法人ART JAPANESOCIETY代表理事・富士山芸術祭プロデューサー。
多摩美術大学修了。樹木や花をテーマにして日本画技能を追始める。現在は日展に所属しながら、生活に身近な場所でのCCTV(防犯設置)を通じて人間関係に焦点を当てた作品を数える連作は、2020年代に完結し、現在は絵仕事を再び平面作品の制作に入っている。
山梨生まれ。静岡県立富士高校、武蔵野美大油絵科 卒
展示会場 16

岩崎永人 IWASAKI Nagato
山梨県立美術館、キリンプラザ展、フィレンツェ・ビエンナーレ、ミュンヘン工科大学、ローセンバハイム市立美術館、大地の芸術祭等、様々な場所で展示されてきたこの四数十年を数える連作は、2020年代に完結し、現在は絵仕事を再び平面作品の制作に入っている。
展示会場 15

熊井恭子 KUMAI Kyoko
1943年東京生まれ。
1966年東京芸術大学美術学部工芸科卒業。
1967年手鞠を始める。
1991年ニューヨーク近代美術館で個展。
長岡造形大学名誉教授、中和年度総統委員委員、日本美術家連盟会員。
展示会場 4

古賀葉月 KOGA Hazuki
1966年生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。
卒業後、東京のアトリエを拠点に、約三年の年少期より暮らしてみる。東京国際空港で勤務、あまりにも空が深く、雨と晴れの境目、気圧の谷を体験する。航空機のエンジン音音は好物。
2024年～山梨県で作品制作。2024年・25年・26年7月～9月「空の上まで」を提案の下、大町市・信州・長野県、2026年「今育 庭を流る」北杜市・個展。
展示会場 13

中田ナオト NAKADA Naoto
1973年愛知県生まれ。1998年名古屋芸術大学デザイン科卒業。2000年多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程修了。東京と名古屋を拠点に活動。主な展覧会に2026個展「太陽考」(ギャラリー亜等 / 愛知)、2024「scenery 景色とつながる4つのメソッド」(古川美術館分館袁三郎記念館 / 愛知)他。
写真提供:竹カエ超清新聞
展示会場 12

新川美湖 NIIKAWA Miko
1997年東京都練馬区生まれ。
1998年日展初入選。1999年日展初入選。2002年日展賞受賞(同 2007年、2009年、2017年)、2005年外務大臣賞受賞、2008年日春賞受賞。2017年特選受賞(同 2018年)、2018年日春賞賞受賞。
東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程修了 博士(学術)取得。現在、日展会員、日春展会員、東京藝術大学大学院専門研究員。
展示会場 8 13

長谷川創 HASEGAWA Hajime
山梨市在住で、金属造形をしています。主に、金属という素材で何ができるのかを探究しています。どのような形が生まれるのか、色をどう取り入れるのか、どんな表情に魅力が宿るのか、仕業材とどのように組み合わせるのか、そして、展示テーマやコンセプトからの分なりの解をどう導き出せるのか、それらを考えながらつくっています。
展示会場 5 13

上田葉介 UEDA Yosuke
1960年甲府市生まれ。多摩美術大学大学院絵画専攻修了。1989～91年ローマ・ヴェネチアのアカデミアに留学。
1995年から個展を中心に作品を発表、グループ展に参加。
独歩的な絵によって、絵の本質的な問題に迫ろうとし、色、形、筆致の動きにより絵の表現の可能性を探究する。
展示会場 13

上野玄起 UENO Genki
制作の合間、一歩外に出て体の中に八ヶ岳の自然を取り込む、そして制作に戻る、暮らしを通じて、豊かな自然の様に自分を保つことをつくりたいものが育ってくる。四季の移ろう暮らしの中にそっと佇む様な作品を作っていきたい。
展示会場 13 17

大久保信子 OKUBO Nobuko
日本美を世界に
という ボリシーのもと海外公募を中心にアート活動を行う。
2020年に「日本の美しい風景や空、古くから伝わる伝説や伝承に興味を持ち「大久保信子」自身のアート目線からイメージを膨らませた
収集的なアートを展開する。
展示会場 6

小林文香 KOBAYASHI Ayaka
山梨県出身、在住。2012年女子美術大学大学院を修了。大学では木版画を学び、山梨県を制作拠点に近現代作品発表を行う。重ねられた独自の地象的な木版画は、細かい彫りのタッチで光を表現している。同時に聞を描くことで、作品全体の深みと、瞑想を誘うような、精神を拡散させられる余白の表現にも挑戦をしている。
展示会場 8

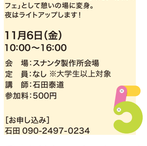
齊藤翔 SAITO Sho
「存在」をテーマに彫刻やインスタレーション作品を発表しています。私の作品は、いわゆる「本物のような彫刻」です。近づけばただの「もの」でも、空間の中でふと「そこにいる」と感じることがある。その知覚のズレの瞬間を引き出すことが、制作の核心です。
展示会場 3

齋藤勇介 SAITO Yusuke
私は"土、鉄、火"を作品の重要な組成要素としています。大きよりも人間と自然に焦点を当てた、3つのエレメントは、人間と地球、創造と生活という関係を創出する緩やかな可能性であると感じます。また、効率化が加速する現代で、我々が忘れかけているものを思い起こすように、身体性を大切に制作しています。
展示会場 7

服部泰一 HATTORI Yasukazu
1969年愛知県生まれ。
1990年日春賞初入選。1991年名古屋芸術大学絵画科日本画専攻卒業。1993年日展初入選。2002年個展(ギャラリー・ジュリー銀座)'04、2017年日展特選。2022年日本画の会(イメ展(栃木県立美術館)、2008年グループ展(渺渺展)他。
現在、日展会友。
展示会場 6

廣島有華 HIROSHIMA Yuka
山梨県南アルプス市出身。女子美術大学大学院在学中。
湿度・温度・明度といった要素によって移ろう空気感や、良い寸法のやすらぎを感じ、明成されるお住環境、こうした「安心する風景」を主題とし、移りゆくお自然に寄り添う風景画の制作を目指す。
展示会場 8

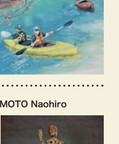
深沢朝美 FUKASAWA Azami
8歳頃に祖母の家のテレビで見た落語の筋切りに強く感動し自身を独学で筋切りを始め、高校時代からカッターを使った切り絵作品を制作しはじめます。現在「生き本来の自然性」を表現した紙の温かな素材感と絞い切り込みを使って作品制作を行っております。
展示会場 4 13



大塚真 OHTSUKA Makoto
1983年、神奈川県相模原市生まれ。相和鉄道高等学校卒業後、鉄道員を務めながら、現在国住する地玉県春日部市を走る東武鉄道・野岩鉄道・会津鉄道の写真を撮り始める。2020年にNPO法人「春日部鉄道写真館」を立ち上げ、現在は全国の第三セクター鉄道を実際に訪れて取材活動を行っている。
展示会場 6

大寄智彦 OHYORI Tomohiko
100年を超える歴史をもつ伝統工芸甲州水晶資石細工の技術を伝承し、次世代へ受け継いでいます。創業以来、美術工芸品の制作に携わり、現在はジュエリーなど多彩な製品を展開しております。三代目となる代表の大寄智彦は、甲州水晶資石細工伝統工芸士の国家資格および山梨県知事認定ジュエリーマスターを当時最年少で取得。山梨県ジュエリーの技術の高さ、美しさを世界に発信しています。
展示会場 17

岡本直浩 OKAMOTO Naohiro
1984年山梨県山梨市生まれ。2008年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。2010年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。百々の絞で根付を制作。2018年生涯300年木彫展に、甲府空襲で焼失した木彫仏を復元。2025年第12回ゴールデン根付アワーズ優秀賞
展示会場 4



坂本泉 SAKAMOTO Izumi
甲府市生まれ。美術館動物、教職、アメリカ在住を経てアート制作を始める。個展、グループ展で発表多数。
2005～Artist In Residence Yamanashi [AIRY]代表～、生家の産婦人科医院をアートスペースに改修して世界各地から作家を受け入れて、芸術による地域におけるレジデンス活動を続けている。
展示会場 13

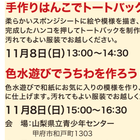
阪本トクロウ SAKAMOTO Tokuro
1975年山梨県生まれ。1999年東京藝術大学卒業。私の作品はゆらが空間である「中空」をテーマとしています。自らの空洞を意識し直視しつつ、作品は鑑賞者が対峙したときに空っぽになる様な状態を目指しています。一瞬の「無」または「永遠」を感じられるような作品を作りたいと思っています。
展示会場 4

佐藤正和重孝 SATO Seiwashigeyoshi
甲虫をモチーフにその形態を通じて活動を展開している。
立命館大学大学院修了。多摩動物園・東京都立大校舎内などを展示するほか、多摩動物園・調査資料室・東京京大校舎内などを展示に設置されたり作品が多数あり、昆虫美術の先駆けとして知られる。
解剖学者の養老孟司氏や機動戦士ガンダムの富野由悠季氏が作品を所蔵するなど、作家の熱烈ほど多くの人に愛されている。
展示会場 14

丸山純子 MARUYAMA Junko
山梨県出身。立命館大学国際関係学部で環境と経済を専攻、City University of New York, Hunter collageで彫刻を専攻。生命、身体、境界、循環をキーワードに、生活の中で出会う身の回りのものの興味、出来事、見過ごされがちな存在を編み、組み直し、無機質と有機質のあわいに生命を探る。
展示会場 10 14

玲奈 Rena
山梨県甲府市出身。
4歳から書に親しみ、現在も書道を学び続けている。「日本の精神性」や「言葉の美しさ」を大切にしながら、国内外で書道パフォーマンス、書アート制作、ワークショップなどの活動を展開。伝統的な書や墨の表現に独自の感性を吹きふき、文字とアートの新たな可能性を日々探求し続けている。
展示会場 5 8

若林克友 WAKABAYASHI Katsutomo
1979年神奈川県生まれ。スナンク製作所代表。古民家街「中政別荘」を運営。
森で生きている酸々は豊かで素朴でちっくしい。森の樹々を暮らしの中に伐採、丸太から開かり樹がもつ歴史をかりて作品にします。森と暮らしと社会の健康な循環を目指しながらものづくりをしています。
展示会場 4 14



開発好明 KAIHATSU Yoshiaki
1966年山梨県出身・山梨県在住。1993年多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了。2024年「開発好明 ART IS LIVE ―ひとり民主主義へようこそ」展を開催。2025年令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣賞。
展示会場 7

柏原恵美 KASHIWABARA Emi
武蔵野美術大学造形学部油画学科版画コース卒業。
2011年大木基金美術作家助成金を得て上海へ留学。山梨を拠点に国内外で個展・グループ展を開催。近年では和や文脈を組み合わせて油絵具を塗り重ねる表現や平面や立体作品の制作を試みています。
展示会場 7

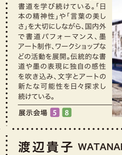
加藤良次 KATOH Ryohji
1957年浜松市生まれ。東京藝術大学大学院修了。
染色作家として国内外で個展を開催、韓国・中国・イタリア・スペインなど国際展にも多数参加。JTC日本テキスタイルカウンシルの常任委員を歴任。奇良県五條市赤祭染めプロジェクト参画。2024年より横浜美術大学学長。
展示会場 4 9 13

須田悦弘 SUDA Yoshihiro
1969年山梨県生まれ。
多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。
現在、東京在住。
精緻な花や草を木彫で作り、それらを思いがけない場所に設置して空間全体をインスタレーションとする作品を制作した。
展示会場 4

高木健一 TAKAGI kenichi
1976年富士市生まれ。
1997年創形美術専門学校卒。2000年・2002年・2004年個展(ギャラリーなつか)、2004年・2019年個展(富士芸術村)、2019年紙のアートフェスティバル大賞個展(紙のアートミュージアム)、2024年個展(入寸前商店・沼津市)他グループ展等参加。
展示会場 4

多田朱利 TADA Aketoshi
建築CGとプロジェクションマッピングを手がける多田朱利です。カナダで建築とCGを学び、一級建築士事務所ATA企画のCGチームを率いてきました。近年はハヶ岳にある未来ーミュージシャン(巻)を拠点に、気功をベースにしたウェルネス事業(HULALI Ki Flow)にも携わっています。今回の富士山芸術祭では、映像と気という自分の中のこころの触を重ねた、この土地の呼吸そのものを光と音で表現できればと思っています。
展示会場 9

渡邉一仁 WATANABE Kazuhito
私は子どもの頃から、何かを見たり聞いたりした時に感じた物を思い浮かべて、知識を想像する事が大好きでした。絵を描いている時はまるで幻影の世界に浸っている様な不思議な感覚です。私の作品の中で見て感じている世界観や、日常生活で感じる想像力をかき立てる感覚を、作品を通して表現したく日々制作活動を続けています。
展示会場 9



渡辺貴子 WATANABE Takako
1995年 Bath College of Higher Education (英国/現 Bath Spa University) 3D Design Ceramics コース卒業後、1999年より個展やグループ展で活動する。日常の中から生まれるアイデアや記憶の断片を形にして、陶のオブジェを制作。物語が出来ていくような未知の世界を楽しんでいます。
展示会場 17

hellowakana
「自分を揺まえる周」を仕掛けない自分を誘惑する事をしています。
これは「生」に合意される装置とそれらに付属する紙糸のオリジナル楽器。張り巡らされた紙糸が結べ、唯一無二の幻想的な音世界。
※日程等の詳細はホームページにて
会場:平山郁夫シルクロード美術館　定員:なし
演奏:鈴木モエ(ストリングクラフト、ITONE)
永井朋生(音楽家、パーカッショニスト、ITONE)
photo by Dmitrijus Fotografija (Old Pirate Studio)

Mt.Fuji Art Festival 2026 Workshop Guide | ワークショップガイド

富士山芸術祭は、作品を鑑賞するだけの芸術祭ではありません。
山梨の伝統工芸をワークショップで体験し、地域を巡り、雄大な風景や文化、食、ワイン、温泉、そして人との交流そのものを楽しむ。そのー つひとつの体験が、あなただけの作品となるでしょう。

オリナル鬼面瓦づくり
かから粘土でちいさな鬼瓦をつくろう!かわいらしいオニ?おっかないオニ?どんなオニかできるかな?
焼成後の返却となります。
10月25日(日)
10:00～/13:30～(各1時間程度)
会　場:若草互会館
定　員:各回20名
講　師:永利郁乃
参加料:1,500円
[お申し込み]
若草互会館 055-283-5870
(火木土日 10:00 ～ 16:00)
1

親子だるまワンダーランド
だるまに願いを込めて～、山梨県伝統工芸品の親子だるまのオリジナル着彩体験。海神で折神入魂し、ひな壇に展示します。
(返却は11月16日以降に海神寺にて)
11月1日(日)
11:00～(1時間程度)
会場:ART SPACE 夢(多目的空間Y)
定　員:30名
講　師:石田泰道・中島史郎
参加料:500円
[お申し込み]
石田 090-2497-0234
2

すみすりワークショップ
墨をすって遊んでみよう!
墨の感触、におい、墨色を楽しみます。墨の世界を再発見するワークショップです。汚れてもよい服装で参加してください。
11月1日(日)
13:00～(1時間程度)
会場:ART SPACE 夢(多目的空間Y)
定　員:10名 ※小学生対象
講　師:雨宮弥太郎
参加料:無料
[お申し込み]
石田 090-2497-0234
3

宝石研磨体験
フローライト(蛍石)シルバーペンダント製作。フローライトに磨きをかけて輝元を輝き、世界に一つだけのペンダントを作りませんか?
11月3日(火)
11:00～/13:00～/15:00～
会　場:ART SPACE 夢(多目的空間Y)
定　員:各回2名 ※高校生以上対象
講　師:大宮智彦
参加料:15,000円
[お申し込み]
TO LABO 055-232-1456
(木～日 12:00～17:30)
4

竹で巨大な鬼を編もう
竹を伐採し、裂き、編み、みんなの力を合わせて巨大な鬼を作ろう!完成後「竹鬼フェス」として敷地の鬼に変身。
夜はライトアップします!
11月6日(金)
10:00～16:00
会　場:スナンク製作所会場
定　員:なし ※大学生以上対象
講　師:石田泰道
参加料:500円
[お申し込み]
石田 090-2497-0234
5

手作りはんこでトートバックを作ろう!
楽ちゃんスポンジシートに絵や模様を描き、オリジナルのハンコを作ります。完成したハンコを押してトートバックを制作します。汚れてもよい服装でお越しください。
11月8日(日) 13:00～14:30
6

色水遊びでうちわを作ろう!
色水遊びで和紙に お気に入りの模様を作り、オリジナルのうちわに仕上げます。汚れてもよい服装でお越しください。
11月8日(日) 15:00～16:30
会　場:山梨県立青少年センター
甲府市和戸町1303
定　員:各15組 ※幼児・小学生と保護者対象
講　師:加山絵子・山梨学院短期大学加山ゼミ学生
参加料:各500円
[お申し込み]
アルカディア南部総合公園文化部
0556-62-9292
(火～日 9:30～17:00)　月曜日定休
7

日本画を描いてみよう
日展会員伊東正次先生による本格的日本画体験ワークショップ。
11月15日(日)
10:00～12:00
会場:近藤浩一路記念南部町立美術館
定　員:15名 ※小学生以上対象
講　師:伊東正次
参加料:無料
[お申し込み]
アルカディア南部総合公園文化部
0556-62-9292
(火～日 9:30～17:00)　月曜日定休
8

Mt.Fuji Art Festival 2026 Artist Talk
アーティスト・トーク
作家自身が語る「アーティスト・トーク」。作品の背景にある考え や経緯などを、生の声で聞くことができます。
近藤浩一路記念南部町立美術館
10月18日(日) 14:00～15:00
富岡家住宅
10月18日(日) 14:00～
根津記念館
11月7日(土) 15:00～16:00

Mt.Fuji Art Festival 2026 Performance Event | パフォーマンスイベント

※詳細はホームページをご確認ください。

清談茶会
茶の歴史に息づく美意識と精神性を学び、未来の日々の営みに活かす特別な茶会を開催します。
10月17日(日)
10:00～/14:30～(各1時間程度)
会場:蓮崎大村記念公園内即益新座敷
定員:各10名　茶代:500円　茶菓:恵三・恵郎人

日本航空高校太鼓除 ×CHUTA×YULI
英崎祭テーマ「奇 想天外」に合わせた、和太鼓とダンスによるスペシャルコラボレーションを開催いたします。
10月24日(日) 10:30～/14:00～
会場:工藤福日美術館体育館　定員:なし
出演:日本航空高校太鼓除/CHUTA/YULI

江戸の賑わいを楽しむ一日
★山田ふるみワーク開催が「津軽じょんから」無踊総巻♪★
津軽三味線・民謡・舞踊 ～和の魅力とエンターテインメント!

花小路では、チンドン屋と歌や伝統芸能を組み合わせた楽出、千味はこころ亀屋産で、軽妙なロと上質な味わいで、江戸情緒あふれる時間を提供します。「津軽じょんから舞踊総巻」は江戸情緒あふれる街歩きと心躍る舞台を一日体験しておお楽しみいただけます。
11月8日(日)
午前:チンドン屋・花魁道中(谷道観賞無料)
午後:チンドン屋・花魁道中(谷道観賞無料)
亀屋産特別公演(ランチ・花魁・山田ふるみワーク・出演)[有料]
会場:こころ亀屋産　定員:100名
出演:新星劇団・山田ふるみワーク/浅草喜和
"ちんどん亀蔵"豆太郎

ストリングラフィ/ITONEコンサート
紙ロップ、紙布を張った太鼓を共鳴させる紙糸のオリジナル楽器。張り巡らされた紙糸が結べ、唯一無二の幻想的な音世界。

海禅寺書道パフォーマンス
海禅寺書庁作家の特別公開とあるオープニングパフォーマンス。作品はその後本堂にて展観します。
11月3日(火) 10:30～/14:00～
会場:海禅寺　定員:なし
パフォーマー:玲奈